

支部便り

第17回東海支部女性の会

「東海で活躍する女性研究者・技術者と話そう」開催報告

Report on the 17th women's meeting "Let's talk with female researchers and engineers who are active in Tokai" from Tokai branch

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

軽金属学会東海支部女性の会では、会員同士の交流や理系女子学生に社会人として働くイメージをもってもらうための講演会、工場見学会、交流会を開催している。コロナ禍以降の講演会はオンラインで開催していたが、今回は対面開催を再開し、また遠方の方もオンラインで参加できるようにハイブリッド開催として企画した。今年度は2024年8月5日(月)に講演会および交流会を名古屋工業大学にて開催した。

同じ東海地区で活動している日本鑄造工学会東海支部には先端鑄造プロセス研究部会女性の会があり、鑄造に関する女性技術者・研究者を招いて講演会を開催している。類似活動をしていることや軽金属学会東海支部長から賛同を得たこともあり、今回は共催とした。

参加者は36名で、内訳は学生が対面4名、オンライン1名、社会人は対面22名(講師、世話人含む)、オンライン9名だった。

今回はさまざまな分野でのお話を伺うべく、金属から離れた分野で活躍している方も講師として招いた。講師は以下のとおりである。

日特建設株式会社	藤代 祥子 氏
株式会社豊田自動織機	木村 有貴 氏
日本ガイシ株式会社	新野 真紀子 氏
三菱自動車工業株式会社	青木 美香 氏

講演会では主に以下のテーマについてお話しいただいた。

- ・入社きっかけ
- ・業務内容
- ・1日のスケジュール
- ・仕事をするうえで重要なこと

講師の4名は就職後のキャリアが10年以上ある方で、いずれも出産後に元の職場に復職された経験を持ち、お子さんの年齢も2歳未満～大学院生と幅広く、仕事と家庭の両立のしかたも人それぞれで多様なお話を伺うことができた。例えば未就学児を抱える家庭では配偶者との連携が不可欠であり、朝と夜の家事を分担する例が示された。また、お子さんが炊飯の準備をするなど、家族で家事を分担する例も紹介された。

「入社きっかけ」では、在学中に東海地域の複数の企業を見学するツアーに参加して押出加工技術に感動した、インターンシップに参加した、などさまざまだった。

「仕事をするうえで重要なこと」では、就職先に正解はなく



図1 講演会の風景



図2 参加者の集合写真

配属された部署で頑張ること、英語ができたほうが仕事の幅が広がる、などの意見があった。また、部長職を務めている講師から「昇格すると裁量権が増える」とのご意見をいただいた。

講演後はテーブルごとに交流会を30分×3セットで行った。1セットごとに各テーブルでどんな話をしたか、簡単に説明していただいたが、人生・進路相談や女性が少ない職場ならではの悩み、講師の藤代氏への鑄造に関するレクチャーなどバラエティに富んだ内容だった。

事後アンケートでは、大変有意義な会であったとの声が多く、また、上司に誘われて参加された方が多かったのが印象的だった。男性の参加者も多く、転勤や海外赴任、昇進に関する悩み等を共有する場となった。今回はハイブリッド開催としたが、現場とオンライン参加者との交流ができない場面があったことについて、お詫び申し上げる。

東海支部では、今後も支部会員や学生向けに講演会・交流会や工場見学会を企画していく予定である。性別・キャリアを問わず、ぜひご参加いただきたい。最後に、本会開催にあたり、気温38℃を超える猛暑のなか、会場にお越しいただいた講師ならびに参加者の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

世話人：日本軽金属株式会社 辻倉 景子
名古屋工業大学 成田 麻未
株式会社TYK 大島 智子
名古屋工業大学 渡辺 義見